

# 支所発地域力向上支援金 事業評価(小田切支所)

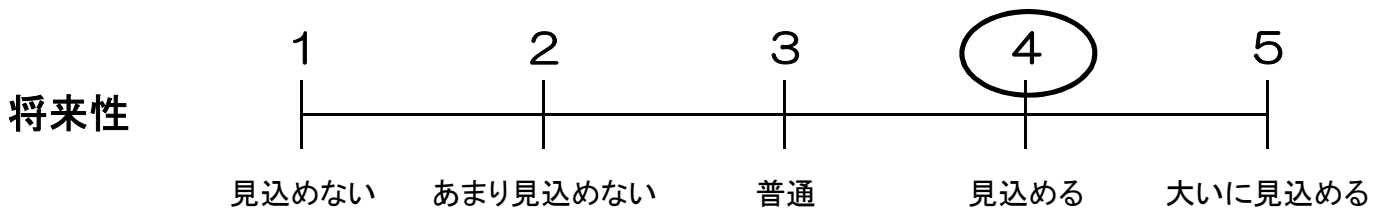
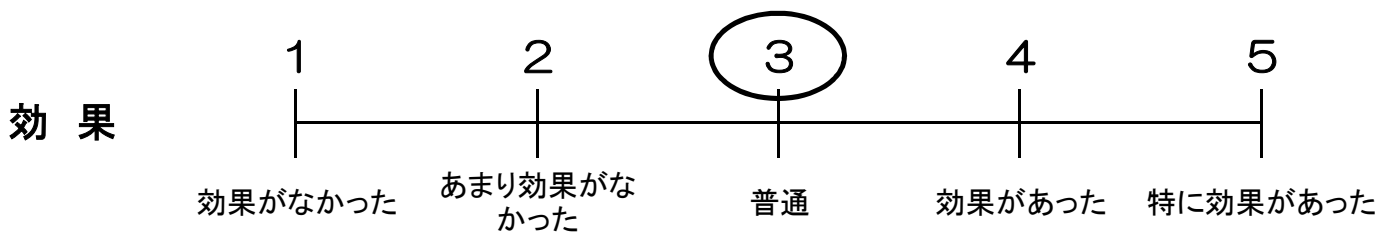
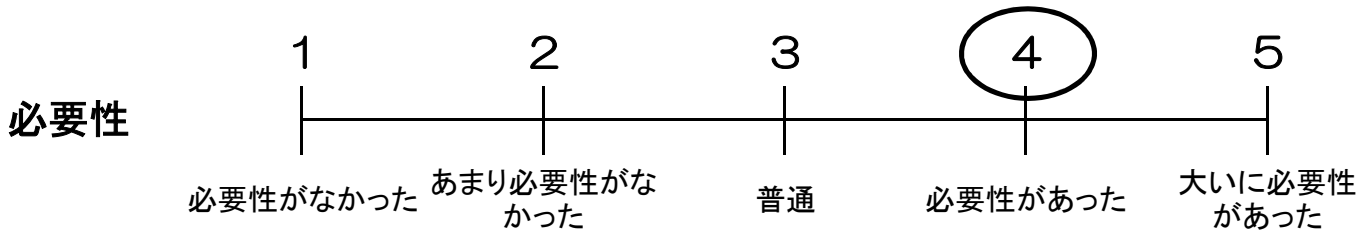
令和5年1月20日

<b>事業名</b>	地域住民との交流の場づくり
------------	---------------

<b>団体名</b>	NPO法人翔和学園 長野翔和学園
------------	------------------

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	その他活動
------	-------



<b>支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)</b>
事業主体の長野翔和学園は、人間関係やコミュニケーションに不安のある若者たちに社会性を学ばせ、集団の中で生きていく力を養い、社会的自立をめざすための教育的支援を行っており、本事業に学生自らが携わり作り上げたことは、教育的見地からも評価できる。
学生による作業には、建築・建設業に関係する地元住民もボランティアとして参加しており、地域内に学校がなく若者との交流が殆どない小田切地区にとっても、若者と触れ合うことができ、観光面にも役立つ景勝地への東屋の整備は、地域の活性化にも大いに繋がると期待している。
今後は、交流の場として、定期的に活動を展開していただきたい。

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和5年1月13日

事業実施地区	小田切地区
事業名	地域住民との交流の場づくり
団体名及び 代表者名	(団体名) NPO 法人翔和学園 長野翔和学園 (代表者名) 理事長 望月 昭彦 (連絡先) 219-1127

## ■事業概要（選考委員会の助言を含む）

<p>東屋（塩生甲）の維持管理並びに公園の整備</p> <p>令和元年度より、地域住民との交流の場づくりとして「東屋」事業開始。新型コロナウイルスの影響で中断しておりましたが、令和4年3月24日に本体が完成。令和4年6月9日（木）に地域の方に向けて、東屋本体完成披露宴を行った。</p> <p>今年度は本体土間工事、椅子などの休憩スペース並びに、公園の整備づくりを実施する。</p>	<p>【事業完了日】 令和4年12月31日</p> <p>【総事業費】 253,594円</p> <p>【補助金額】 253,000円</p>
---	---

## ※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>地域の皆様に利用していただける公園が完成しました。小田切の高台よりアルプスを一望できる場所として、小田切地域をはじめ、誰でも利用できる場所となります。</p> <p>当初は工程の多くを事業者へ委託する予定でしたが、学生自身による作業を増やし、自分達の手で整備することで、今まで以上に地域に対する愛着が沸き、四季を通じて自然と人が交流できる場所となりました。学生は8月から12月までの間、週3回、1回5～10名、1日3時間ほど作業に従事いたしました。</p> <p>なお、11/26予定していた交流イベントはコロナ感染拡大防止の為中止となりましたが、雪解けを待って再企画する予定です。</p>
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

## ■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容	○			
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	公園の整備により、新たな地域の名所が出来たこと。また小田切地域の杉間伐材を利用し、地域と共生する公園ができたこと。			

## ■今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>・東屋本体並びに公園の維持管理。</li> <li>・次年度以降、当学園小田切キャンパスに整備予定の交流スペースと併せて、学園行事並びに小田切地区の各種日程と調整の上、交流事業を予定。</li> </ul>
--

【事業前】





## 【事業中】



(木伐採の様子)



(小田切地区 間伐材を加工：階段のステップとして)



(階段づくり)



(ベンチ作成)



## 【事業後】



■砕石、木伐採



■看板の設置



■ベンチ設置





■ウッドチップ設置



■東屋公園 完成